

令和2年度  
優秀賞

# ENEOS 喜入基地株式会社

## 会社概要

ENEOS 喜入基地株式会社は 1967 年に設立。1969 年 6 月に喜入基地を開設し、同年 9 月より操業開始。従業員数は 113 名。16 万 kl クラス 24 基、10 万 kl クラス 30 基、5 万 kl クラス 3 基の合計 57 基の石油タンクを擁する世界最大級の原油中継備蓄基地として、石油の安定供給に寄与している。

## 削減実績

二酸化炭素排出量削減率 21.4%達成（平成 28 年度比）

※電力排出係数の変動の影響を考慮し、電力排出係数を基準年度（平成 28 年度）に固定して実績排出量を算定し、計画期間（平成 29 年度～平成 31 年度）の平均排出量を評価した。

## 実施した対策

### 従業員による削減活動の実施

社内に設置された SEA 推進委員会においては、改善カードという個人の改善のアイデアを拾い上げる仕組みを運用し、形式を問わず社内からの省エネの取組に関しても提案を受け付けており、全社的に省エネについての課題やその解決策について考える機会を設けている。

また、昼休み時間の消灯や、トイレ内にトイレのふたを閉めた場合の省エネ効果を記した貼り紙をするなど、全社的に省エネに取り組んでいる。

### 独自の省エネ

T V R 設備（タンカー排出ガス処理設備）により、原油をタンカーに積み込む際に、タンカーから排出されたガスを回収し、原油に吸収させることにより、エネルギーとして再利用している。

さらに、2017 年度に T V R 設備における燃焼設備に燃料調節バルブを新設し、燃料供給量の細やかな調整が可能となったことで、燃料の使用量削減を実現した。

### その他の省エネ

事務所内の執務室においては、エアコンにハイブリットファンを設置し、エアコンの効率的な運転に心がけている。

また、社内における省エネ対策については、紙の使用量削減等について年に 1 回全体教育において周知を行っており、削減の進捗状況により、管理グループから社員に再周知を図っている。

さらに、自動車の利用に関する省エネ推進体制を整備しており、年数回新入社員等を対象とした安全運転講習でのエコドライブ講習を実施している。

そして、太陽光発電と蓄電池を導入しており、2020 年度から太陽光発電による電力の事務所利用、蓄電池については夜間に充電し、昼間に放電する省エネ運転の実施を予定している。



【トイレ内の貼り紙】



【燃料調節バルブ】



【蓄電池設備】